

## ●回復期リハビリテーション病棟への 入院から退院までの流れ

### 入院・訓練開始

- ・医師の指示のもと、患者さんに適したリハビリテーション計画を立てて、訓練を開始します。
- ・リハビリテーションチーム全員で患者さんの入院生活をサポートします。

### カンファレンス

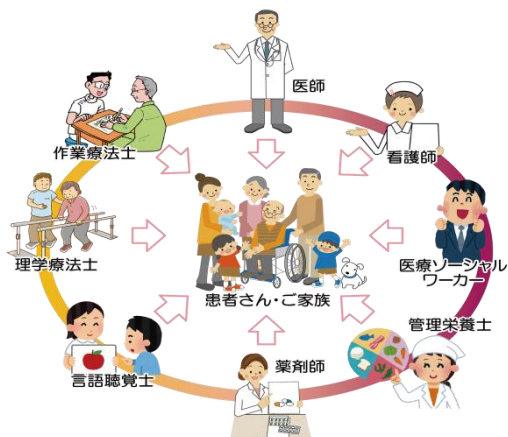
- ・毎週、スタッフが集まり、患者さんの状態・訓練の進み具合を報告し、問題点について話し合います。そして、今後の治療・訓練・目標方針等を検討します。

### 本人・家族面談

- ・担当医師・スタッフより、患者さんの現在の状況・今後の見通しなどを説明し、ご本人・ご家族さんからのご希望を伺いながら、今後の対応や方針を決定します。

### 退院相談・退院

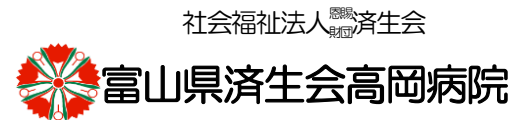
- ・退院支援カンファレンス  
退院に向けて、在宅生活に少しでも不安な点がないよう、健康面・介護面の指導及び相談、地域で利用できるサービスを紹介します。
- ・家屋評価・退院前訪問・試み外出  
在宅復帰の際、ご本人・介助される方のために具体的な介助方法や必要な家屋改造・介護用品の選択をご家族さんと一緒に行います。



### お問合せ先

済生会高岡病院 地域医療連携室  
〒933-8525  
富山県高岡市二塚 387-1

【直通】 電話・FAX 0766-21-1516  
【代表】 電話 0766-21-0570  
FAX 0766-23-9025



## 回復期リハビリテーション 病棟のご案内



済生会高岡病院は、「急性期病棟」に加え、「回復期リハビリテーション病棟」と「地域包括ケア病棟」を併せて運用し、進展する超高齢社会、医療提供体制の変化に対応し、地域における医療ニーズに応えてまいります。

## ● ごあいさつ

済生会高岡病院は、急性期病院として、高度急性期・急性期医療を提供しておりますが、手術等の急性期医療が終了後症状が安定すると、これまでは退院していただく必要がありました。



院長 野田 八詞

しかし、患者さんが在宅へ復帰される場合あるいは施設に入居されるまでには、十分なリハビリテーションなどの回復期医療の提供が欠かせません。

当院では、こうしたニーズに対応するため、平成26年10月に「地域包括ケア病棟」を開設し、平成28年5月から、リハビリテーションに重点を置いた「回復期リハビリテーション病棟」を開設する運びとなりました。今後、急性期医療を担う病棟とともに、回復期医療を担う2つの病棟を総合的に運用し、ますます進展する超高齢社会と、医療機能の分化・連携に象徴される医療提供体制の変化に的確に対応し、地域の医療ニーズに応えてまいります。

## ● リハビリテーション療法部スタッフ

部長 久門 弘 (整形外科部長)  
 医長 小竹 源紀 (リハビリテーション科医長)  
 理学療法士 19名 作業療法士 9名  
 言語聴覚士 3名



## ● 回復期リハビリテーション病棟とは？

「回復期リハビリテーション病棟」は、命の危機を脱してもまだ医学的・心理的サポートが必要な時期の患者さんを対象に受け入れ、多くの医療専門職がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で在宅等に戻っていただくことを目的とした病棟です。

当院では、7階病棟に40床(4人床8室、2人床1室、個室6室)を整備し、当面は30床を運用してまいります。



## ● 回復期リハビリテーション病棟への入院対象となる患者さんと入院期間は？

疾患(病名)	発症から入院までの期間	病棟に入院できる最長期間
1) 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳炎、脊髄炎、多発性硬化症、脳神経線維腫瘍等の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態	2カ月以内	150日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む他部位外傷	2カ月以内	180日
2) 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折又は二腕以上の多発骨折の発症後又は手術後状態	2カ月以内	90日
3) 外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	2カ月以内	90日
4) 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	1カ月以内	60日
5) 股関節又は膝関節の置換後の状態	1カ月以内	90日

## ● 回復期リハビリテーション病棟の一日の流れ

7:30	12:00	13:00	18:00	21:00
起床・洗面・更衣	朝食	リハビリテーション (体温・脈拍・血圧測定等) バイタルチェック 入浴	昼食	リハビリテーション (体温・脈拍・血圧測定等) 入浴
			夕食	洗面・更衣
				消灯

## ● 地域包括ケア病棟とは？

病状が安定した患者さんに対して、効率的で密度の濃い退院支援を行う「在宅復帰支援のための病棟」です。

現在、急性期病棟で症状が安定すると、早期に退院いただく必要があります。しかし、ご自宅や施設等での療養に不安があったり、もう少しの入院治療で改善が見込まれる患者さん・ご家族のために、当院では地域包括ケア病棟として、6階病棟52床(4人床11室、個室8室)をご用意し、安心して退院いただけるよう支援します。

## ● 地域包括ケア病棟への入院対象となる患者さんは？

【継続したリハビリテーションが必要な方】

- 骨折などの手術後で、継続した運動器リハビリテーションが必要な方

【経過観察が必要な方】

- 入院治療により病状は安定したが、もう少し経過観察が必要な方

【在宅復帰への環境整備が必要な方】

- 日常生活に不安を感じ、様子をみながら自宅へかえる準備を進めたい方
- 住宅改修などで、自宅での療養環境の準備に一定の期間が必要な方

【施設入所準備中の方】

- 特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の施設への入所にむけて準備されている方

【その他】

- 在宅療養をしており、一時的に入院が必要な方



## ● 入院の期間は？

医師、看護師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー等が共同して在宅等への復帰にむけた「入院診療計画」を作成します。入院期間は状態に応じ調整しますが、60日までが限度となっています。

